



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 アトミクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4625 URL https://www.atomix.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神保 敏和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 富士田 学 (TEL) 03 (3969) 0471  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,306	3.1	36	△78.3	43	△75.6	16	△91.3
2022年3月期第2四半期	5,148	—	166	—	178	—	187	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 17百万円(△86.0%) 2022年3月期第2四半期 123百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.06	—
2022年3月期第2四半期	35.31	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。2022年3月期第2四半期に係る各数値について、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,668	9,894	72.4
2022年3月期	14,543	9,971	68.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 9,894百万円 2022年3月期 9,971百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	11,800	6.7	240	△43.0	260	△41.9	165	△56.4	31.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,242,000株	2022年3月期	7,242,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,932,645株	2022年3月期	1,934,145株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	5,308,880株	2022年3月期2Q	5,298,847株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され景気は緩やかに回復傾向にあるものの、ウクライナ情勢に起因する原材料価格の高騰や調達リスクの深刻化及び急激な円安進行など依然として不透明で厳しい状況が続いています。

このような厳しい環境の中、当社グループは製品・サービスを通じて社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献するよう製品開発・営業活動を進めてきました。また、原材料等の高騰に対して一部製品の価格改定を行い利益確保に努めましたが度重なる原材料価格の高騰により利益は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高53億6百万円(前年同期51億48百万円)、営業利益36百万円(同 1億66百万円)、経常利益43百万円(同 1億78百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益16百万円(同 1億87百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

#### <塗料販売事業>

建築用・床用塗料は、一部製品において原材料の調達ができず欠品となり影響を受けましたが、ASシステム(ドローン)による営業活動により屋根材が伸長したこと、主要な顧客である製造業の工場床の改修工事が順調だったこと、価格改定前の先行購入が進んだことにより前年を上回りました。

道路用塗料は、公共工事は底堅く推移しており特に通学路対策や弱者対策により路面標示用塗料と視覚障がい者用製品が伸長し前年を上回りました。

アトムレイズ(水性アクリルゴム系塗膜防水材料)は、レイズ工業会の会員数は順調に増加し営業活動を行っていますが、案件受注にはいたらず前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年と比べて2億40百万円増加し50億56百万円(前年同期5.0%増)となりました。

#### <施工事業>

床材工事は製造工場の案件により昨年同様となりましたが、子会社アトムテクノスでの工事受注が少なかったため前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年と比べて82百万円減少し2億49百万円(前年同期比24.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて8億75百万円減少し、136億68百万円となりました。これは主に、現金及び預金で3億4百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で5億79百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて7億98百万円減少し、37億73百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金で3億57百万円、電子記録債務で54百万円、賞与引当金で1億50百万円、未払法人税等で79百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて76百万円減少し、98億94百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益で16百万円増加したものの、配当金で95百万円減少したためです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、2022年11月9日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,188,023	2,883,482
受取手形、売掛金及び契約資産	3,066,700	2,486,760
電子記録債権	722,837	774,827
商品及び製品	1,209,046	1,164,210
仕掛品	181,420	194,716
原材料及び貯蔵品	630,711	630,873
その他	25,925	37,818
貸倒引当金	△470	△8,815
流動資産合計	9,024,194	8,163,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,074,010	1,043,253
土地	2,895,299	2,895,299
その他（純額）	360,516	338,588
有形固定資産合計	4,329,827	4,277,142
無形固定資産	469,741	525,765
投資その他の資産		
その他	791,406	726,958
貸倒引当金	△71,616	△25,328
投資その他の資産合計	719,790	701,630
固定資産合計	5,519,358	5,504,538
資産合計	14,543,553	13,668,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,330,752	972,994
電子記録債務	1,520,361	1,466,274
短期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	108,469	28,755
賞与引当金	179,259	28,852
その他	650,958	516,867
流動負債合計	3,949,802	3,173,744
固定負債		
長期借入金	75,000	45,000
役員退職慰労引当金	80,439	81,284
株式給付引当金	105,249	113,697
退職給付に係る負債	281,324	284,719
資産除去債務	43,560	43,793
その他	36,693	31,575
固定負債合計	622,267	600,070
負債合計	4,572,069	3,773,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	9,011,818	8,933,051
自己株式	△1,003,880	△1,003,002
株主資本合計	9,788,246	9,710,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,931	180,335
退職給付に係る調整累計額	4,305	3,903
その他の包括利益累計額合計	183,236	184,238
純資産合計	9,971,483	9,894,597
負債純資産合計	14,543,553	13,668,413

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	4,816,143	5,056,775
工事売上高	332,736	249,784
売上高合計	5,148,879	5,306,560
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	3,371,758	3,700,614
工事売上原価	258,550	207,035
売上原価合計	3,630,308	3,907,650
<b>売上総利益</b>	1,518,570	1,398,910
販売費及び一般管理費	1,352,239	1,362,776
<b>営業利益</b>	166,330	36,134
<b>営業外収益</b>		
受取利息	4	4
受取配当金	6,895	5,628
為替差益	392	—
共同研究収入	—	8,962
その他	6,641	4,626
営業外収益合計	13,933	19,221
<b>営業外費用</b>		
支払利息	1,337	958
為替差損	—	1,590
事故関連損失	—	9,122
営業外費用合計	1,337	11,671
<b>経常利益</b>	178,926	43,684
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	3	349
投資有価証券売却益	112,714	—
特別利益合計	112,717	349
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	418	1,313
特別損失合計	418	1,313
税金等調整前四半期純利益	291,225	42,721
法人税、住民税及び事業税	78,191	16,492
法人税等調整額	25,902	9,977
法人税等合計	104,093	26,469
<b>四半期純利益</b>	187,132	16,252
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,132	16,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,484	1,404
退職給付に係る調整額	△297	△402
その他の包括利益合計	△63,781	1,002
四半期包括利益	123,350	17,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,350	17,254
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	291,225	42,721
減価償却費	162,243	156,736
貸倒引当金の増減額(△は減少)	48,454	△37,943
賞与引当金の増減額(△は減少)	△220,154	△150,406
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,941	845
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,640	7,242
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	△431	△582
株式給付引当金の増減額(△は減少)	8,992	9,326
受取利息及び受取配当金	△6,899	△5,633
共同研究収入	—	△8,962
支払利息	1,337	958
事故関連損失	—	9,122
為替差損益(△は益)	△1	△14
固定資産売却損益(△は益)	△3	△349
固定資産除却損	418	1,313
投資有価証券売却損益(△は益)	△112,714	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,058,539	574,211
棚卸資産の増減額(△は増加)	61,207	31,377
仕入債務の増減額(△は減少)	△529,634	△411,844
その他	△250,720	△71,706
小計	495,278	146,412
利息及び配当金の受取額	6,899	5,633
共同研究による受取額	—	8,962
利息の支払額	△1,324	△966
事故関連損失の支払額	—	△683
法人税等の支払額	△145,615	△89,845
その他	—	611
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,238	70,123
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△128,337	△94,799
有形固定資産の売却による収入	169	330
無形固定資産の取得による支出	△109,020	△139,783
投資有価証券の売却による収入	205,881	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	—	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,307	△234,246
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△33,610	△30,000
配当金の支払額	△83,216	△94,681
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18,420	△15,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,246	△140,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	188,686	△304,540
現金及び現金同等物の期首残高	2,823,839	3,188,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,012,525	2,883,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
--

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。